
願

ekaki

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
願

【Nコード】
N7344B

【作者名】
ekaki

【あらすじ】
僕は今、校舎の窓から外を眺めている。平和。平和過ぎる程の平和。真の平和とは、なんだろうか。

(前書き)

・・うああ・・。

10作目じゃなくなってしまった・・。

今回は(も?)、かなりありがちな、『平和』という題材です。
かなり意味不明な文だと思いますが、読んでやって下さい。

僕は今、校舎の窓から外を見ている。

空は何処までも蒼く澄み、つがいの鳥が空を舞い、時には木で翼を休め、大小の雲達がゆっくりと空を流れる。

・・・平和だ。

平和過ぎる程の平和。

僕達は、『平和』と言う名の揺り籠に守られながら生きているのかも知れない。

―そして、僕達がその『揺り籠』の中で守られながら生きている時。

世界では。

どれだけの人が、死んでいっているのだろう。

どれだけの涙が流されているのだろう。

どれだけの血が流されているのだろう。

どれだけの破壊兵器が飛び交っているのだろう。

どれだけの花が、木が、草が、灰となっているのだろう。

それは、僕には分からない。

分からない時点で、僕はもう部外者なのだ。

こんな事をいくら考えても、僕は部外者なのだ。

結局、僕は部外者以外の何者でもない。

人は、殺し合い、憎み合い、そして奪い合う。

それは、仕方の無い事だと思う。

人間は無駄に賢い生き物だから。
人間は愚かだから。
人間は汚いから。

国と国。

自分と他人。

同じだ。

同じなんだ。

どれだけ仲が良くても、悪くても。

それは仕方の無い事なんだ。

仲の悪い人や国と無理に仲良くしようとしても、それは無理だ。

嫌いな物は嫌い。

好きな物は好き。

これは本能だから。

理屈じゃないから。

僕は今、校舎の窓から外を見ている。

空は何処までも蒼く澄み、つがいの鳥が空を舞い、時には木で翼を
休め、大小の雲達がゆっくりと空を流れる。

この美しい光景とは正反対の、醜く汚い人間。

どうしようもない人間。

救いようの無い人間。

―でも僕は、その人間に願う。

世界に願う。

人々に願う。

もう、争いせんように。

僕は、願う。

もう血が流れませんように。

僕は、願う。

世界中の破壊兵器が、いつか消えてなくなりますように。

僕は、願う。

世界中の人々から、ありとあらゆる差別が無くなりますように。

僕は、願う。

世界中の全ての人々が、笑い合いながら、手を繋ぐ事が出来る時が
来ますように。

僕は、願う。

世界に平和を。

願わくば、世界に愛を。

世界に平和を。

世界に、平和を。

(後書き)

このような拙い文章を読んで下さり、ありがとうございます。
かなり詰まらないありがちな題材の文ですが、この文を読んで、少しでも真の『平和』について考えて頂ければ、嬉しく思います。
・・・まあ、この文は『平和』と同時に、俺の『人間嫌い』の集大成と言えなくも無いのですが(笑)
御意見、御感想、誤字脱字などを報告して頂ければ嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7344b/>

願

2010年11月24日01時05分発行